

# 財政誘導目標

(平成30年度当初予算時点での状況)

一定以上の基金を確保しながら、借金残高を増やさない範囲において、元気な鳥取県を創り出して  
いくための施策を集中的に実施

## 数 値 目 標

① H30の財政調整型基金残高  $\geq$  300億円 (H19当初時の基金残高)

⇒ H30当初予算ベースでは、309億円(年度末達成見込み)

※ 財政調整型基金・・・以下の5基金の合計

財政調整基金、県立公共施設等建設基金、減債基金、大規模事業基金、長寿社会対策推進基金

② H30の実質的な借入金残高  $\leq$  3,000億円  
(H26の実質的な借入金残高3,100億円よりも引き下げる)

⇒ H30当初予算ベースでは、2,973億円(年度末達成見込み)

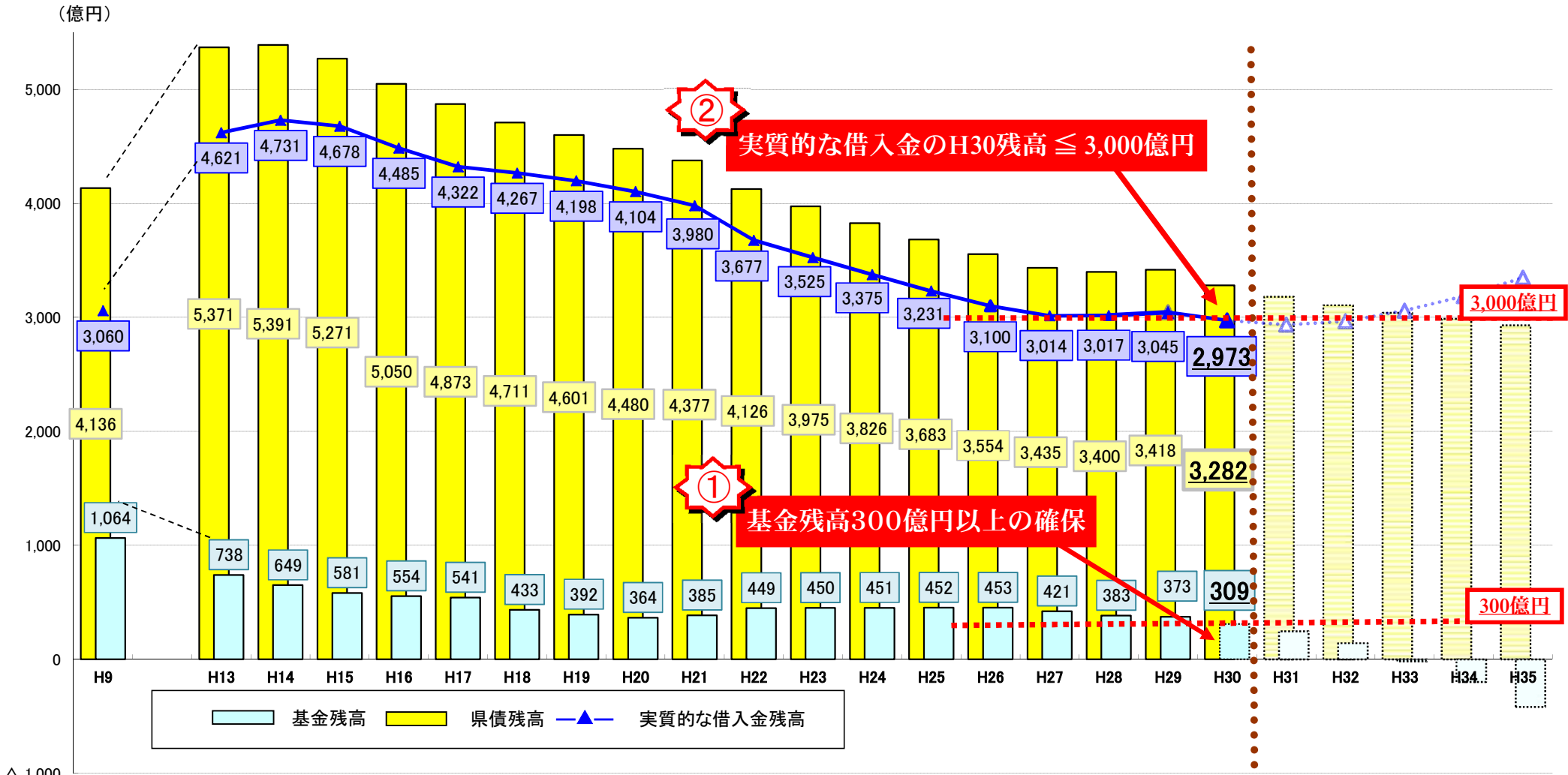
※ 実質的な借入金残高 = 県債残高(臨財債除く) - 財政調整型基金残高

③ 当初予算編成時でのプライマリーバランスの黒字化(臨財債除く)

⇒ H30当初予算ベースでは、3億円黒字(達成)

※「プライマリーバランス」とは基礎的財政収支のことで、黒字であれば、当該年度の政策的事業が将来への負担を増加させることなく実施でき、健全な財政運営が行われていることを示す

# 平成30年度当初予算時点の歳入・歳出構造を継続した場合の推計 (今後の健全財政の推進について)



	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
プライマリーバランス	▲ 223	▲ 109	▲ 25	39	3	18	▲ 34	35	49	119	109	80	93	88	33	5	11	3	▲ 60	▲ 127	▲ 190	▲ 225	▲ 258

※プライマリーバランスは当初予算時点の数値。(知事改選期は肉付け後予算)

**③ 当初予算編成時でのプライマリーバランスの黒字化**